

# スリーラインズ(株)

## 子どもたちが帰ってきたくなる宇和島に

遊子の道路沿い、まるで研究所のように建っているのが「スジアオノリ」の陸上養殖を行うスリーラインズ(株)です。代表の山内 満子 さんは、長年遊子漁協女性部長として地域を元気にするために奔走してきました。退任後も「えひめいやしの南予博2016」をきっかけに、夫と市外から帰ってきた長男の3人でスリーラインズ(株)を立ち上げ、さまざまな取り組みを行ってきました。そんな中で出会ったのが大きなタンク一面に育つ青のりでした。11～2月ごろに旬を迎える天然の青のりが毎年減少していることから、年間を通し安定して出

荷できる陸上養殖に着目しました。蓋付きのタンクで育てるのでゴミや不純物が少なく、エビやカニなどの甲殻類の影響を受けない地下水を使うことでアレルギーにも配慮しています。この事業は「第6回DBJ女性新ビジネスプランコンペティション」でソーシャルデザイン賞にも輝きました。

山内さんは「長男に続き次男も帰ってきた。長男の奥さんは東京から来てくれた。地元に残っている人が楽しいことをしていれば、みんな帰ってきてくれる。家族一丸で取り組むこの事業をモデルケースにしたい」と力強く話してくれました。



まるで研究所のような会社外観



家族全員で育てています (中心が満子さん)



さまざまな形に加工された青のり